

Ⅱ 集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ〇で囲んでください。
(〇は1つだけ)

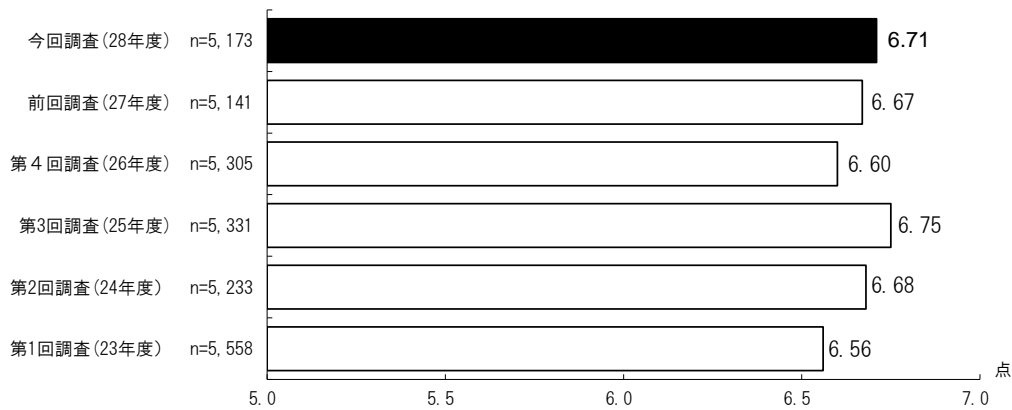
➤ 日ごろ感じている幸福感

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.71点で、第1回調査より0.15点、前回調査より0.04点それぞれ高くなっています。

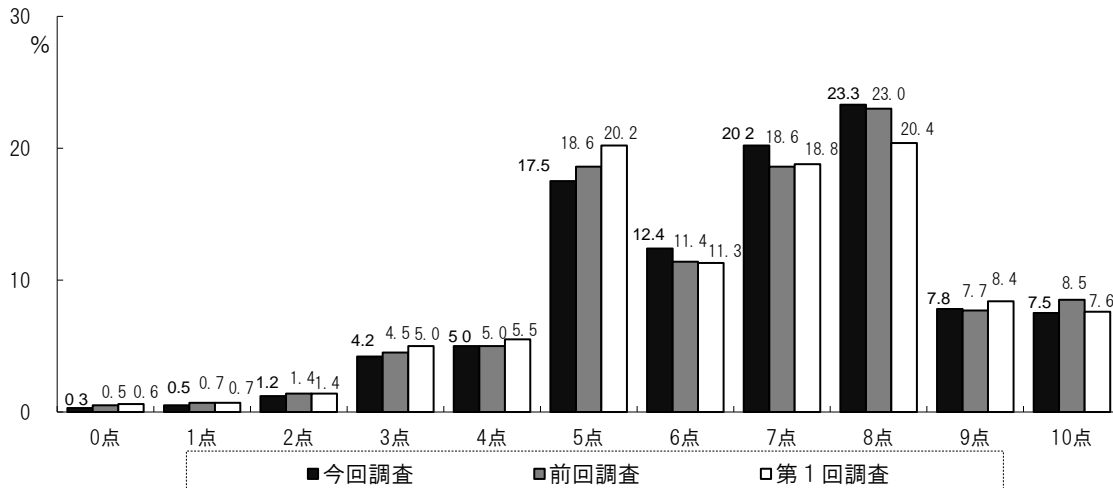
点数の分布をみると、「8点」の割合が23.3%と最も高く、次いで「7点」が20.2%と「5点」が17.5%となっており、M字型となっています。

前回調査と比べると、「7点」の割合が1.6ポイント高く、「5点」の割合が1.1ポイント低くなっています。第1回調査と比べると、「8点」の割合が2.9ポイント高く、「5点」が2.7ポイント低くなっています。

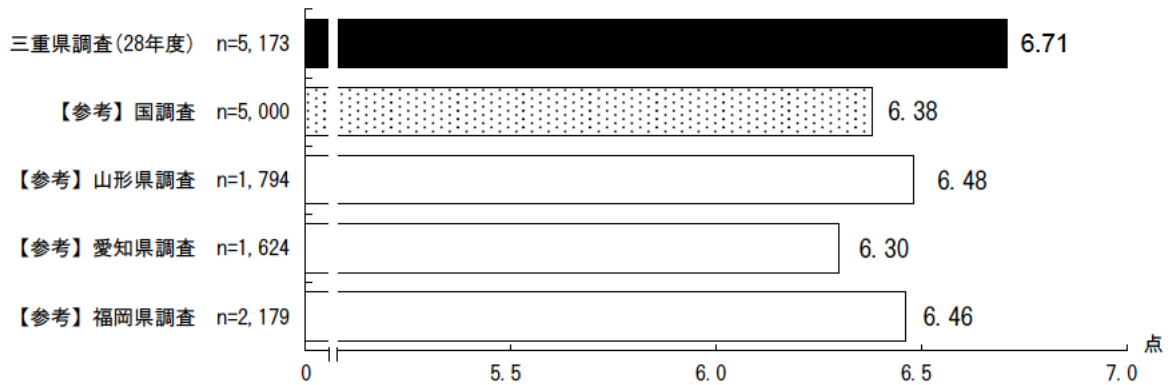
図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



図表 2-1-3 (参考)国及び他県における類いの調査結果(「幸福感」を10点満点で尋ねる調査)



※ 国調査：厚生労働省「平成26年健康意識調査」、山形県調査：「平成27年度県政アンケート調査」、愛知県調査：「平成27年度第3回県政世論調査」、福岡県調査：「平成28年度県民意識調査」

日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が6.81点で最も高く、次いで中南勢、伊勢志摩の順となっています。前回調査と比較すると、伊賀で0.13点、北勢で0.05点それぞれ高く、東紀州で0.12点低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が6.85点で男性の6.58点より0.27点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.16点高く、女性は0.01点低くなっています。第1回調査と比較すると、男性は0.26点、女性は0.05点それぞれ高くなっています。

年齢別で幸福感平均値を見ると、30歳代6.91点と最も高く、次いで40歳代、50～60歳代の順となっています。前回調査と比較すると、70歳以上を除く全ての年齢階級で高くなっており、30歳代で0.13点、40歳代で0.09点、50歳代で0.08点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較しても、70歳以上を除く全ての年齢階級で高くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、専業主婦・主夫が7.03点で最も高く、次いで学生、自営業・自由業の順となっています。前回調査と比較すると、学生と専業主婦・主夫を除く全ての職業で高くなっており、農林水産業とその他の職業で0.27点、自営業・自由業で0.26点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較すると、農林水産業、その他の職業、専業主婦・主夫を除く全ての職業で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が6.91点で最も高く、次いで離別・死別が6.27点、未婚が6.03点となっています。前回調査と比較すると、未婚で0.19点、離別・死別で0.06点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、三世代世帯が7.01点で最も高く、次いで一世代世帯が6.83点、二世帯世帯が6.73点、単独世帯が5.99点となっています。第1回調査と比較すると、単独世帯を除く全ての世帯で高くなっています。

世帯収入別では、500～600万円未満の世帯収入の階層を除き、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100万円未満で0.33点、400～500万円未満で0.25点それぞれ高くなっています。

図表 2-1-4 日ごろ感じている幸福度の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.71	(0.04)	<0.15>
地域			
北勢	6.81	(0.05)	<0.17>
伊賀	6.61	(0.13)	<0.10>
中南勢	6.69	(0.04)	<0.15>
伊勢志摩	6.64	(0.02)	<0.23>
東紀州	6.36	(-0.12)	<-0.11>
性別			
男性	6.58	(0.16)	<0.26>
女性	6.85	(-0.01)	<0.05>
年齢			
18歳から20歳代	6.69	(-)	<->
30歳代	6.91	(0.13)	<0.06>
40歳代	6.87	(0.09)	<0.30>
50歳代	6.71	(0.08)	<0.21>
60歳代	6.71	(0.02)	<0.22>
70歳以上	6.55	(-0.05)	<0.00>
主な職業			
農林水産業	6.48	(0.27)	<-0.02>
自営業・自由業	6.93	(0.26)	<0.28>
正規職員	6.86	(0.01)	<0.17>
パート・アルバイト・派遣	6.64	(0.15)	<0.25>
その他の職業	6.62	(0.27)	<-0.05>
学生	6.97	(-0.27)	<0.39>
専業主婦・主夫	7.03	(-0.19)	<-0.01>
無職	6.41	(0.07)	<0.18>
配偶関係			
未婚	6.03	(0.19)	<0.26>
有配偶	6.91	(0.00)	<0.13>
離別・死別	6.27	(0.06)	<0.17>
世帯類型			
単独世帯	5.99	(0.11)	<0.00>
一世代世帯	6.83	(-0.04)	<0.09>
二世帯世帯	6.73	(0.06)	<0.23>
三世帯世帯	7.01	(0.20)	<0.19>
世帯収入			
～100万円未満	5.86	(0.33)	<->
～200万円未満	6.09	(0.13)	<->
～300万円未満	6.42	(0.04)	<->
～400万円未満	6.53	(-0.20)	<->
～500万円未満	6.95	(0.25)	<->
～600万円未満	6.88	(0.03)	<->
～800万円未満	7.11	(0.03)	<->
～1,000万円未満	7.15	(-0.12)	<->
1,000万円以上	7.68	(0.05)	<->

※世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問1-2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

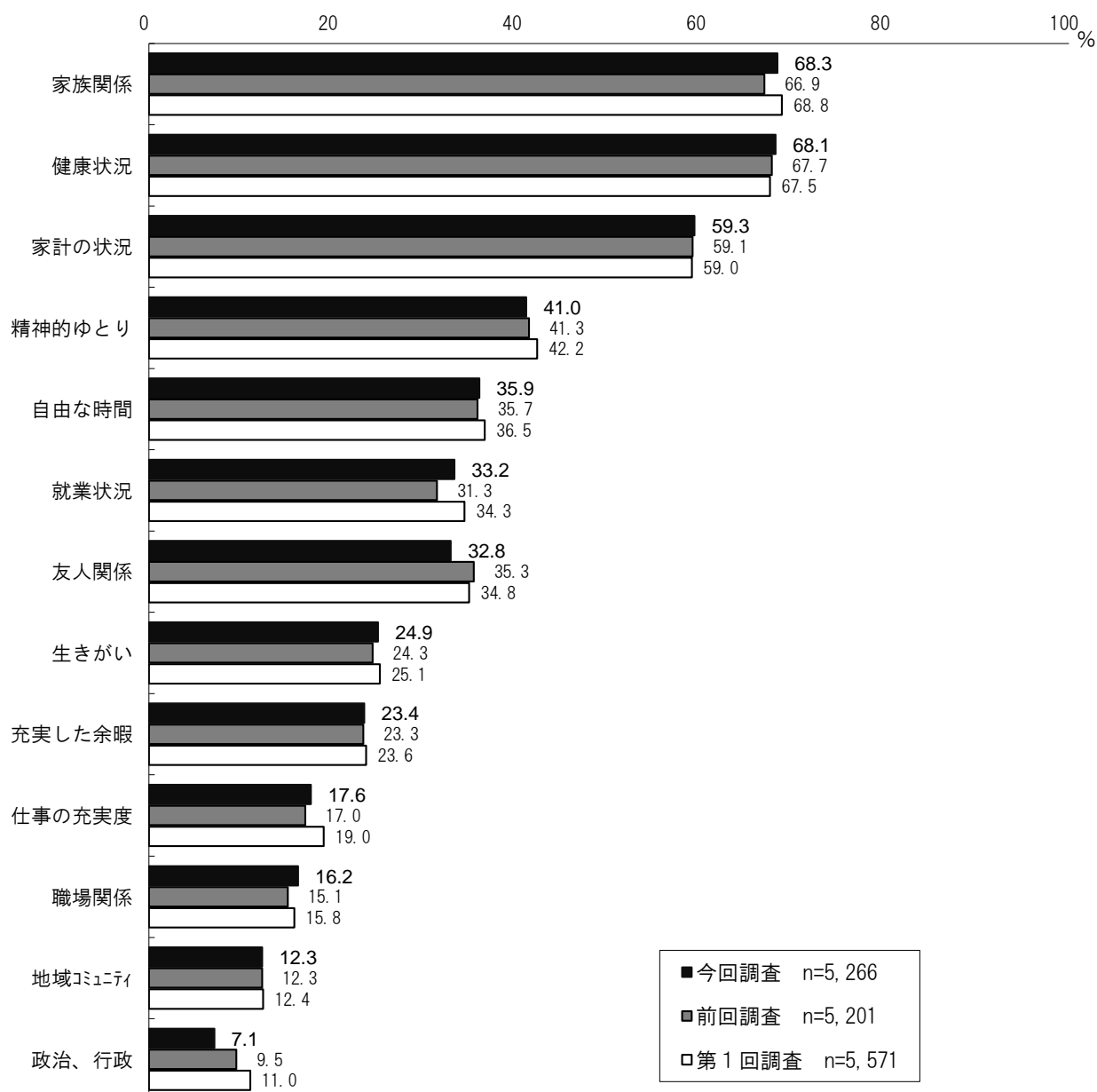
➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は、「家族関係」の割合が68.3%で最も高く、次いで「健康状況」(68.1%)、「家計の状況」(59.3%)となっています。

第1回調査から第3回調査は「家族関係」が最も高く、第4回調査と前回調査は「健康状況」が最も高くなっていましたが、今回調査は再び「家族関係」が最も高くなっていました。

また、第1回調査から前回調査は、「就業状況」より「友人関係」の割合が高くなっていましたが、今回調査では「友人関係」より「就業状況」の割合が高くなっていました。

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項[複数回答]



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-6 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位 6 項目の属性別)

地域別では、北勢、東紀州では「家族関係」が、伊賀、中南勢、伊勢志摩では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢別では、50 歳代以上は「健康状況」が、40 歳代以下は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。30 歳代は「家計の状況」が 2 番目に高く、18 歳から 20 歳代は「友人関係」が 2 番目に高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高く、自営業・自由業、その他の職業、無職は「健康状況」が最も高くなっています。

学生は「友人関係」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族関係」が、未婚と離別・死別では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、一世代世帯、二世代世帯、三世代世帯は「家族関係」が、単独世帯は「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、400 万円未満の層は「健康状況」が最も高く、500 万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

	家族関係	健康状況	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	就業状況	友人関係	
全体	68.3	68.1	59.3	41.0	35.9	33.2	32.8	
地域	北勢	69.0	66.4	60.9	39.7	35.7	33.6	32.9
	伊賀	67.4	69.1	58.9	40.0	34.5	36.2	33.1
	中南勢	68.9	71.4	59.5	42.5	36.3	34.2	32.8
	伊勢志摩	65.6	66.9	56.5	44.0	36.8	31.6	31.7
	東紀州	69.3	63.9	49.5	39.6	38.1	19.8	33.7
性別	男性	65.2	67.5	59.4	38.5	32.7	35.0	26.0
	女性	71.3	68.8	59.9	43.8	38.6	31.7	38.6
年齢	18歳から20歳代	62.5	54.0	49.1	43.6	48.1	39.2	57.4
	30歳代	73.8	58.2	60.0	43.8	34.6	45.9	33.7
	40歳代	74.8	65.3	62.7	41.3	30.8	45.0	30.8
	50歳代	69.8	71.2	66.5	43.3	29.3	47.7	27.4
	60歳代	67.1	73.4	60.7	41.0	35.7	26.2	29.7
	70歳以上	62.3	69.7	52.1	37.4	43.6	10.7	35.6
主な職業	農林水産業	69.3	66.7	58.2	42.5	36.6	26.1	34.0
	自営業・自由業	67.6	68.3	60.8	41.7	32.2	36.1	34.9
	正規職員	71.4	66.2	63.6	39.4	29.2	52.5	30.3
	パート・バイト・派遣	71.1	68.5	61.3	42.1	34.7	43.1	31.3
	その他の職業	63.6	64.5	61.5	39.4	33.8	39.8	30.7
	学生	67.1	60.3	37.0	56.2	65.8	19.2	71.2
	専業主婦・主夫	76.3	71.3	63.6	44.5	40.2	13.3	39.5
	無職	59.3	69.8	52.3	39.9	43.6	8.0	29.9
配偶関係	未婚	52.4	58.8	51.1	45.0	45.7	44.0	43.4
	有配偶	72.4	69.7	62.8	40.4	34.0	33.0	30.6
	離別・死別	61.2	68.6	49.2	41.0	39.3	26.3	36.2
世帯類型	単独世帯	48.0	68.3	50.6	45.3	43.2	28.4	37.5
	一世代世帯	68.9	68.8	60.7	38.7	39.2	23.9	31.2
	二世代世帯	70.8	67.4	61.1	42.2	33.3	39.6	31.5
	三世代世帯	73.9	70.5	58.5	42.1	32.5	35.6	36.7
世帯収入	100万円未満	54.4	61.0	46.5	39.5	40.4	23.7	32.9
	~200万円未満	55.9	65.2	52.6	41.2	40.3	22.7	33.9
	~300万円未満	65.6	69.7	55.0	39.1	39.6	22.8	33.4
	~400万円未満	69.1	70.2	59.6	41.4	35.0	28.2	29.5
	~500万円未満	72.6	67.2	63.5	38.7	34.2	33.2	33.7
	~600万円未満	73.6	65.5	60.6	42.0	31.8	38.9	30.4
	~800万円未満	74.8	68.9	64.8	40.5	32.5	45.2	30.9
	~1,000万円未満	72.9	71.3	70.8	40.8	29.7	45.9	32.4
1,000万円以上	77.5	76.4	72.9	45.8	33.3	53.1	36.6	

※凡例： 第1位 第2位 第3位

問1-3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

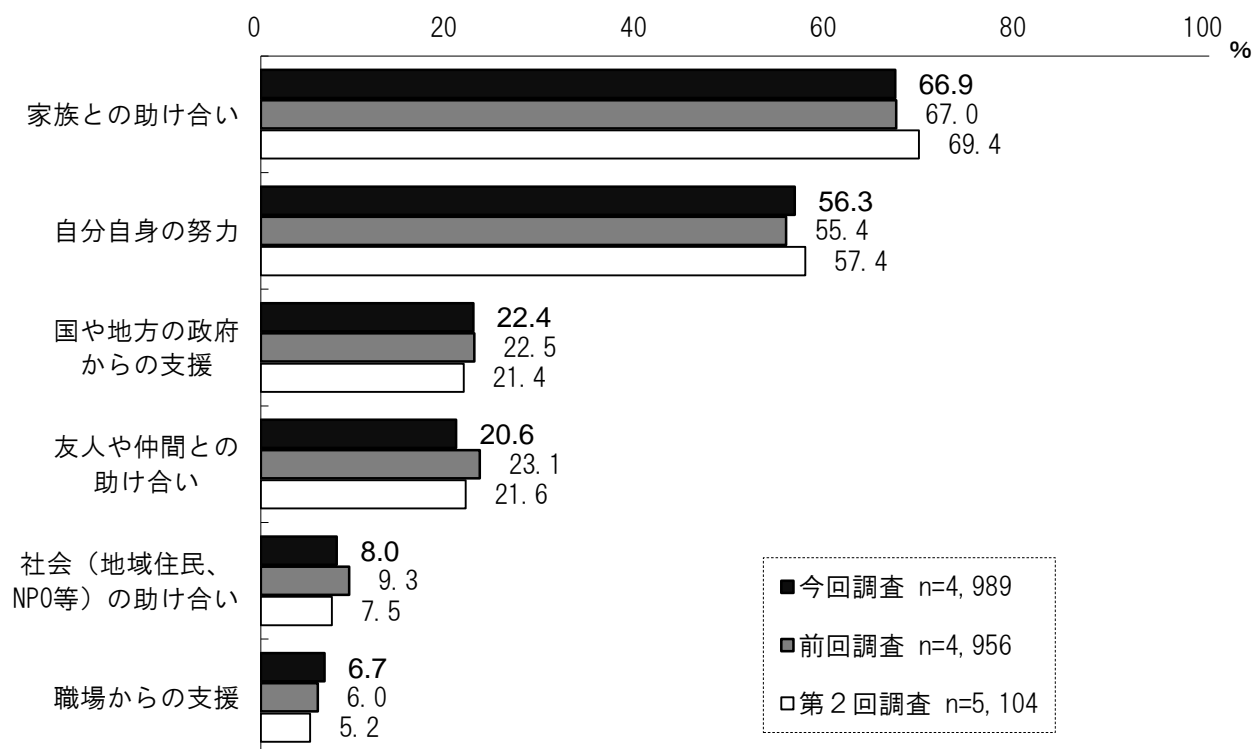
➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が66.9%で最も高く、次いで、「自分自身の努力」(56.3%)、「国や地方の政府からの支援」(22.4%)となっています。

前回調査との比較では、「自分自身の努力」が0.9ポイント、「職場からの支援」が0.7ポイントそれぞれ高く、「友人や仲間との助け合い」が2.5ポイント、「社会(地域住民、NPO等)の助け合い」が1.3ポイントそれぞれ低くなっています。

「国や地方の政府からの支援」が「友人や仲間との助け合い」と入れ替わり、3番目に高くなったことを除くと、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て〔2つまでの複数回答〕



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」の順となっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」、「国や地方の政府からの支援」の順に高くなっています。

年齢別では、18歳から20歳代を除くすべての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。18歳から20歳代は「自分自身の努力」、「友人や仲間との助け合い」の順に高くなっています。

主な職業別に見ると、学生を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。学生は「友人や仲間との助け合い」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、100万円～200万円未満を除く全ての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。100万円～200万円未満では「自分自身の努力」、「家族とのタス掛け合い」の順に高くなっています。

図表 2-1-8 幸福感を高める手立て（属性別）

	助家族 合との	自分 自身の 努力	か国 らの 地方 支 援 の 政 府	助友 け人 や仲 間との	の民、 社 会 （地 域 住 民、 N P O 等） の 助 け 合 い	職 場 か ら の 支 援	
全体	66.9	56.3	22.4	20.6	8.0	6.7	
地域	北勢	67.2	56.8	21.4	20.3	7.7	7.3
	伊賀	66.7	55.4	26.7	20.0	7.9	6.5
	中南勢	67.0	55.8	22.6	21.8	8.4	6.6
	伊勢志摩	67.1	57.3	22.0	18.4	8.2	5.9
	東紀州	66.0	54.8	21.8	23.9	8.1	5.6
性別	男性	64.6	58.5	21.7	18.1	10.0	7.3
	女性	69.1	54.1	23.2	22.7	6.4	6.4
年齢	18歳から20歳代	43.1	53.7	21.0	41.3	3.6	18.5
	30歳代	61.5	49.9	27.1	22.2	5.3	14.7
	40歳代	67.8	54.5	25.6	16.0	5.4	11.3
	50歳代	69.0	57.5	23.2	15.2	8.2	7.5
	60歳代	69.9	59.6	20.7	18.6	10.3	2.1
	70歳以上	70.0	55.9	19.8	24.8	10.2	1.1
主な 職業	農林水産業	69.4	56.5	20.4	23.1	12.2	2.7
	自営業・自由業	66.1	63.2	19.8	21.3	8.7	2.5
	正規職員	65.4	56.5	21.5	19.0	5.7	13.7
	パート・バイト・派遣	67.8	54.8	25.5	17.6	7.4	7.9
	その他の職業	56.0	58.3	26.1	14.7	8.3	11.9
	学生	43.7	56.3	15.5	57.7	7.0	1.4
	専業主婦・主夫	76.4	53.4	21.5	22.6	7.5	2.1
無職	67.3	54.9	23.1	22.0	11.2	1.0	
配偶 関係	未婚	40.0	63.0	23.3	31.0	6.9	13.2
	有配偶	73.0	54.8	21.5	18.3	8.2	6.2
	離別・死別	57.0	59.7	26.3	25.1	7.4	4.4
世帯 類型	単独世帯	39.9	68.8	25.2	29.9	8.5	6.5
	一世代世帯	71.9	55.4	20.3	20.4	9.4	4.4
	二世帯世帯	67.6	55.1	23.6	18.4	7.4	8.7
	三世帯世帯	72.6	53.9	20.7	23.2	6.7	5.4
世帯 収入	100万円未満	56.0	52.2	34.9	19.6	6.7	4.8
	～200万円未満	56.2	58.9	26.9	22.5	10.1	5.0
	～300万円未満	68.2	54.1	24.8	22.2	9.8	3.7
	～400万円未満	67.2	56.9	22.0	20.7	9.5	4.7
	～500万円未満	67.1	56.0	22.0	20.7	8.4	7.3
	～600万円未満	69.1	52.8	22.9	15.9	9.9	10.3
	～800万円未満	71.0	57.9	22.4	18.7	4.9	8.9
	～1,000万円未満	72.2	56.1	18.2	20.0	6.0	9.1
1,000万円以上	75.3	65.4	10.8	18.6	5.8	8.1	

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**